

障害のある人とない人が一緒に踊る「車いすダンス」を広めている市民団体「ジェネシス オブ エンターテイメント」(大阪市中央区)が29日午後1時半から、有料公演「ギフト」を大阪市浪速区のリバティホールで開く。有料公演は昨年に続き2回目で、メンバーは「障害者の踊りとしてでなく、ダンスの芸術性を見てほしい」と意気込む。

## 激しく華麗に

# 車いすダンス

1997年設立の「ジェネシス」には現在、10〜70歳代の約60人がいる。その半数は交通事故や小児まひなどから車いすを使用。国際的な競技会のアジアチャンピオンのペアも所属する。

結びつきたい」と話す。

見どころは、車いすの高速回転や舞台を駆けるスピード感と滑らかさ。昨年3月の有料公演では「お金を払って見てもらえるのか」とのメンバーの不安があったが、満席の会場から拍手がわき起こった。「手を取り合う姿が美しかった」「一生懸命さが伝わった」との声も寄せられた。

代表の坪田建一さんは「有料公演を単発で終わらせず、メンバーの意識と芸術性を高めていく。チャレンジを続け、将来、公演を障害者の収入に

公演名「ギフト」は「幸せ・元氣・希望の贈り物」という意味。さらびやかな衣装の22人が、サンバ、Jポップなど約20曲に合わせ、それぞれの思いを客席に届ける。障害

### 29日に公演

者同士のペア、踊る喜びを笑顔と上半身いっぱい動きで表すメンバーもいる。  
定員275人。入場料は大人1500円、障害者(介助者含む)、65歳以上、小学生から大学生は1200円。申し込みは大阪人権博物館(3月23、27日は休館)内の車いすダンス公演係(06・6561・7173、ファクス06・6561・3572)へ。



優雅に、そして激しく舞う、車いすダンスのペア=ジェネシス オブ エンターテイメント提供

### こどもの詩

まふらー  
黒沢 優  
ゆびあみであんだあったかいいまふらー  
太かったりほそかったりする  
へんな毛糸であんだんだよ  
あむのはとつてもむずかしかった  
白とオレンジとピンクとうすピンク  
すごくきれいな色ばかり  
ふわふわであったかいいんだよ  
(茨城県常陸大宮市・塩田小2年)

## くらし「家庭

名古屋市中で開業する歯科医の柳瀬順輝さん(65)には、生まれつき、顔の右側のあざやおぼ、首に赤黒いあざがある。血管が太かったり数が多かったりして赤くなる「血管腫」という病

どしない。子どもの友達が家に遊びに来ると、奥に隠れた。  
メイクの効果について知ったのは十数年前。傷やあざのメイクに取り組むかづきれいさんの講演が愛知

ジュ、茶色のファンデーションとパウダーを重ね塗りし、あざを隠してくれた。  
名古屋の診療所に戻ったのは夜10時ごろ。当時70歳を過ぎていた母親が、首を長くして待っていた。柳瀬

外出すると人の視線が気になり、幼い時から家にもりがち。成人して歯科医になっても、内向的な性格は変わらなかった。診察中

県内で開かれ、妻の政子さんと聴きに行ったのがきっかけだ。  
さんの顔や首をじろじろ見た。「あざが全然分からなくなった」。涙を流し、は

時、専

## メイクの力

② / 5

# 血管腫のあざ隠す技

は大きなアズマを

は

は